

第32回 令和3年度全国グループホーム等研修会

ありのまま いきていく ちいきの
なかで

2020 + 1

令和3年8月20日 (金)

9:30~17:00

(zoomウェビナーにてLive配信)

主催：

公財)日本知的障害者福祉協会

日本知的障害者福祉協会東海地区会

一社)愛知県知的障害者福祉協会

日本でグループホーム制度が始まり30年が過ぎました。今では施設入所支援の利用者を超える13万人以上の方が、グループホームを利用して地域の中で生活されています。

暮らしの主演はご本人です。グループホームでは一人ひとりの気持ちに寄り添い、その方らしい暮らしの充実を目指して、家族やスタッフ、地域の関係者など、本人を取り巻く人々と共に取り組んできました。

この様な歩みを続ける中、2020年を迎えてすぐに新型コロナウイルスが拡大。それは私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、感染の終息は未だ見えてきません。本大会も2020年8月の開催に向けて準備を進めてきましたが、延期せざるを得ない状況となりました。しかし、その様な状況においても、私たちが共に学び、交流する事で、暮らしの充実に繋がると信じて、今回オンラインでの研修を企画しました。

全国の皆さん！オンラインで学び、オンラインで交流をしましょう！

「地域の中で、ありのまま、生きていく...」そんな暮らしが広がる機会になる事を期待しています。

Program-大会プログラム-

8:50 開場 / 9:20 配信開始

9:30 ~ 9:45 オープニング - 主催者挨拶 - 井上 博 (公財)日本知的障害者福祉協会会長 近藤 忠彦 (公財)日本知的障害者福祉協会副会長 東海地区知的障害者福祉協会会長 最上 太郎 (公財)日本知的障害者福祉協会地域支援部会長

9:50 ~ 11:00 記念講演 『今日も一日、楽しかった』 あべ けん太 (ダウン症のタレント/会社員) 安部 俊秀 (会社役員/あべけん太の父)

11:15 ~ 12:30 Live Talk 『明日に向けた暮らしのあり方』 ナビゲーター 手嶋 雅史 (一社)愛知県知的障害者福祉協会顧問 榎山女学園大学教授 スピーカー 水野 伸一 (グループホーム入居者) 社会福祉法人憩の郷Maison de sant e 戸田 健一 (相談支援専門員) 特定NPO法人たねっと障がい者相談支援センター夢民 居村 和樹 (サービス管理責任者) 社会福祉法人福角会のみみホームズ

「第32回 令和3年全国グループホーム等研修会」につきましては、日本知的障害福祉協会HPからも案内・PVをご覧いただけます。

日本知的障害福祉協会 検索

13:30 ~ 15:30 第1分科会 オンラインGH見学会『ケンミンショー』 社会福祉法人伊達コスモス21サポートじゃんぷ (北海道) 案内人: 栗野明子 社会福祉法人さふらん会シャローム (愛知) 案内人: 青山卓哉 社会福祉法人御陽会 グループホーム事業所スマイルシード (熊本) 案内人: 山崎雅之 社会福祉法人海邦福祉会GH海の邦 (沖縄) 案内人: 知念隆生

第2分科会 『行政説明』 障害保健福祉施策の動向 地域移行・地域生活の支援でのグループホームのあり方 栗原 拓也 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 地域生活支援推進室室長補佐) 伊藤 淳一 (公財)日本知的障害者福祉協会地域支援部副会長 石本 伸也 (公財)日本知的障害者福祉協会政策委員

第3分科会 『高齢知的障害者の支援について』 古川 慎治 (独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 総務企画局事業企画部部長)

第4分科会 『地域共生×SDGs×The OnlineCafe』 繁原 幸樹 (社会福祉法人さふらん会シャローム管理者) 野呂 大悟 (社会福祉法人永美福祉会しらすぎケアホーム管理者)

16:00 ~ 17:00 Cross talk 『障がいのある方々の権利を守る“まちづくり”』 聞き手 阪田 征彦 (一社)愛知県知的障害者福祉協会副会長 社会福祉法人無門福祉会 常務理事 語り手 野澤 和弘 (一社)愛知県知的障害者福祉協会顧問 植草学園大学副学長・教授 (一社)スローコミュニケーション代表 井上 博 (公財)日本知的障害者福祉協会会長

記念講演 『今日も一日、楽しかった』

あべけん太

1987年、東京都生まれ。3人姉弟の末っ子。

生後数カ月後に、ダウン症(21トリソミー)と診断される。

小・中学校は普通科で学び、2003年、フリースクールに入学。絵画やボクシング、レスリングなど、気になることはガンガンやってみるタイプ。運転免許は、筆記試験に55回ものチャレンジをした末、2007年取得する。

2008年、知的障害者就労支援センター「すきっぷ」に入所。その後、2010年にIT企業である株式会社クレオに入社、社会人となる。2011年、NHK Eテレ「バリバラ」にダウン症初のお笑い芸人として初出演。その後、「ダウン症のイケメンけん太」の愛称で親しまれ、数々の特集番組にメインで出演。「出生前・・・」ではギャラクシー月間賞を受賞する。俳優としても活躍しており、NHK Eテレドラマ「悪夢」「禁断の実は満月に輝く」等2年連続でダウン症のバーテンダー役で準主役、主役として出演。その後も民放、NetTV等数多くに出演、又新聞社のインタビューなどを通して、ダウン症についての啓発活動に励んでいる。性格は明るいチャレンジャー。夢は「トークライブで全国制覇すること」。「ダウン症があってもこんなに毎日楽しくすごしている」ということを知ってもらうため、タレントとしても邁進中。

第1分科会

オンラインGH見学会『ケンミンショー』

zoomウェビナーを使い、北海道から沖縄まで全国4箇所のグループホームをリアルタイムにバーチャル見学します！全国に点在する様々な特色あるホームを一気に！しかも短時間で！見学できるまたとないチャンス！参加者は自分のデバイスからチャットを使ってすぐさま質問ができます。またリアルな見学ではなかなか見ることができないあんなとこ、こんなとこも見えるかも!?

第3分科会

『高齢知的障害者の支援について』

昨今、高齢化する知的障害者の支援について、関心が高まっています。それは、支援の現場において、利用者の心身の変化に支援者が戸惑い、どのように理解し、支援したら良いのか、またどの段階までグループホームで支援することが出来るかに不安を抱えているからだと思われます。そこで、まず改めて、知的障害者が高齢化することについて理解を深め、認知機能や身体機能の変化、知的障害者の認知症についてなどを正しく知ることで、利用者の加齢に伴う変化を客観的に理解することにつなげたいと思います。そして、必要な支援や枠組みを知り、適切な時期に必要な支援につなげたり、地域で足りないものは創出していけるような取り組みにつなげていくことを期待します。

Live Talk 『明日に向けた暮らしのあり方』

グループホーム事業初期の本人の願いは、「こんなことがしたい、行ってみたい」というものですが、地域での暮らしの中で「もっと自立した暮らしがしたい」など願いは無限に広がってきました。これは特別なことではなく市民として普通の願いです。しかし、知的障害のある人にとって普通の願いを実現することは難しい事です。世話人や生活支援員、サビ管、相談支援専門員など、事業所を超えた関係機関との連携が必要です。

今回は、利用者、サビ管、相談支援専門員に登壇いただき、「私の夢」や「こうすれば本人の願いを実現できた」という取り組みや経験を語っていただきます。地域で暮らす市民として、自分が決めた自分らしい暮らしを実現することの大切さを、ネットワークの取組みから探っていきたく思います。

Cross talk 『障がいのある方々の権利を守るまちづくり』

障害者虐待は、相談・通報件数、虐待判断件数、被虐待者件数とも、全国統計においては増加傾向にあります。そのような中、愛知県では障がいのある方の暮らしの場における虐待事件が発生。私たちは今一度、虐待の防止、権利擁護について、問い直す機会を作っていきたいと考えています。また私たちはグループホームで生活する利用者さんの、日々の暮らしを支援する事を通じて、近隣地域と繋がりを深め、単にホームの利用者ではなく、ひとりの地域住民としての個人をサポートする立場にもあります。この機会を通じて、事業所やホームの中だけで完結する権利擁護ではなく、地域住民のひとりとして、「障がいのある方の権利を守る“まちづくり”」という視点で、私たちは何が出来るか?を考えたいと思います。

第2分科会

『行政説明』

障害保健福祉施策の動向 地域移行・地域生活の支援でのグループホームのあり方

今年度、障害福祉サービス等報酬改定がありました。改定においては障害者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援が見直されました。年々グループホームの形態も様々になり、その役割も大きく変化しております。単に改定内容を確認するだけでなく、そこから見えてくるこれからの地域で生活するグループホームのあり方を一緒に考えてみませんか?

第4分科会

『地域共生×SDGs×The OnlineCafe』

グループホームと地域共生という言葉は切っても切れない物であり、私達は地域の中で暮らすご本人を支える大切な役割を担っています。「地域共生」というテーマを、現在世間でよく耳にする「SDGs」というフィルターを通して参加者の皆さんと共に考えるセッションです。「SDGsの本質とは?」「SDGsと福祉の繋がりは?」冒頭の講義ではこの様なテーマでSDGsを学び、後半はグループに分かれオンラインカフェという新たな手法を用いて自由なセッションを行います。

私たちが起点となり、持続可能な地域共生を共に考えましょう!

※本研修はzoomミーティングを使用します。参加者の皆様はマイク・カメラ付PCをご準備下さい。デバイスはお1人様1台が推奨です。ミーティングを使用致しますので人数制限が御座います。

1. お申込み

①参加費用 オンライン参加のみ 8,500円（非会員は11,000円） ※ 1 端末あたり

②参加方法

インターネットでの申し込みになります。

下記URLまたはQRコードより必要事項を入力し申し込みください。

URL : <https://bit.ly/2S27BmN>

QRコード：
こちらからも申込
が可能です



③申込期間

2021年6月1日（火） ～ 2021年7月30日（金）

■お申し込みに関する留意事項

・参加申し込みがサイトにて完了された方には、登録いただきましたメールアドレスに申込完了メールが配信されます。

注：お使いのパソコン等でセキュリティのためメールの受信拒否設定をされている方は、@mwt.co.jpドメインからの受信許可設定を事前をお願いします。

・お振込に関しましては、上記、申込完了メールに詳細記載しております。

振込先・振込期日等ご確認くださいませよう、よろしく願いいたします。

・参加お申し込みの登録操作方法は、上記サイトのトップページをご覧ください。

・締切日7月30日（金）までの変更・取消は参加者ご自身にて上記サイトで変更等操作ください。

・締切日以降の変更・取消は、上記サイトのお問い合わせフォームからメールの送信またはFAXにて名鉄観光サービス（株）MICEセンターまでご連絡ください（お電話での変更取消はお受け致しかねます）。

・参加費入金後の参加取り消しは、原則として返金対応致しかねます。

■オンライン大会実施にあたっての注意事項

本大会では「Zoom ウェビナー」を使用したライブ配信を実施いたします。

参加の申込みは、以下の事項を必ずご確認くださいの上、お申込みください。

同意いただけない場合は参加申込みの受け付けができませんので、予めご了承ください。

・大会当日は、下記をご準備ください。

①視聴デバイス（パソコン・タブレット・スマートフォン等）

②インターネット環境（可能であれば有線LANを推奨いたします。）

③イヤホン（必要に応じて） ※第4分科会にご参加の方はマイク付きイヤホンをご用意下さい

※参加費は1端末あたりの金額のため、1視聴デバイスで複数名が同時視聴されても結構です。

・可能であれば、アプリのダウンロードをお願いします。

Zoomアプリは、下記 “ミーティング用Zoomクライアント” からダウンロードできます。

<https://zoom.us/download>

・Zoomの操作方法等については下記のサイトもご参照ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja>

・URL等の再配布は禁止です。また講義の録音、録画、撮影、は固く禁止いたします。

・ご参加の皆様視聴デバイストラブル、接続の不具合などにより、本講座に参加できなかった場合や途中の切断、画像・音声に乱れが生じた場合、原則、参加費の返金はいたしません。

・ライブ講義の再配信はいたしません。

【問い合わせ先】

①申し込み、支払いに関する内容

名鉄観光（株）MICEセンター

E-mail : mice@mwt.co.jp

TEL : 03-3595-1121

※営業時間9:30~17:30（土・日・祝日除く）

担当：北川・野口

②研修会に関する内容

愛知県知的障害者福祉協会地域支援部会

E-mail : info.tsukushi@misuzukai.jp

TEL : 0566-36-2831

担当：橋口 磨理子